

第70回日本ハンドボール選手権大会（男子の部）

戦況用紙

日時 2019年1月31日（木）

場所 山鹿市総合体育館（Aコート）

回戦 3回戦

A 15 大阪体育大学 ● 27 $\begin{pmatrix} 11 - 14 \\ 16 - 15 \end{pmatrix}$ 29 ○ トヨタ自動車東日本 (JHL)

戦況	前 半	学生チャンピオンの大体大と今大会初戦の東日本の対戦。大体大・橋本のランニングシュートを手始めに2点先制した大体大に対して、東日本も河内の7mTで得点するなど、お互いに主導権を譲らない。13分過ぎに東日本は堤のロング、川端の速攻で逆転に成功する。19分過ぎ、大体大は7mTを得るが、シュートが東日本GKの顔面を直撃、失格となってしまふ。その際に、東日本は堤のロングシュートなどで3点差とリードを広げる。大体大も原田のステップシュート、阿部のロングシュートで食らいつく。大体大・堀田、東日本・堀口の両GKの好セーブもあり、お互いに譲らない緊迫したゲーム展開が続く。27分過ぎに大体大は3:2:1ディフェンスに変更するも、東日本は堤のロングシュートで4点差に開けるが、終了間際に大体大・田邊がサイドシュートを決め、14対11と東日本が3点リードして前半を終了する。
	後 半	後半、大体大は3:2:1、東日本は6:0ディフェンスを展開するが、大体大は橋本の速攻、木本の速攻やポストシュートで同点に追いつく。畳み掛ける大体大は、原田の速攻で逆転するが、東日本も藤村のポストシュートで取り返す。前半同様、お互いに主導権を譲らず、両GKの好セーブもあり、一進一退の攻防が続く。23分過ぎ、同点の場面で大体大が得た7mTを東日本GK・西出が好セーブ。その勢いそのままに、東日本は藤村、堤がロングシュートをたたき込み、2点のリードを奪うと、その後の大体大の反撃を抑えて29対27で勝利を掴んだ。

記入者

平井 昌徳